

平成18年9月1日発行(毎月1回1日発行) 第35巻・第9号 通算408号
昭和50年7月2日第三種郵便物認可

ラグビーマガジン

Rugby magazine

9 SEP. 2006
No. 408

新首脳インタビュー2006
中竹竜二[早大新監督]

TOP LEAGUE PREVIEW Vol.1/From Australia
東芝×ウエスタン・フォース、NEC×レッズ

特集◆ジャパニョ、どこへ行く

OUI OU NON?

INTERVIEW◆JP・エリサルド[日本代表ヘッドコーチ]
PACIFIC FIVE NATIONS◆vs Jr. オールブラックス/フィジー
CLOSE UP◆守屋篤[CTB/ヤマハ発動機ジュビロ]

特別
定価 860円
ベースボール・マガジン社
<http://www.bbm-japan.com>

情熱とともに!
60th
ANNIVERSARY
ベースボール・マガジン社



一般・優勝
ZERO(兵庫県)



一般・準優勝
BE@RS(和歌山県)



女子・優勝
JOLIES(東京都)



女子・準優勝
PROSPERARE(兵庫県)



オーバー35・優勝
大阪スーパーモンキーズ(大阪府)

白浜大会といえば、その名の通り、なんといっても真っ白なビーチ！ あいにく、白い砂に映える真っ青な空...とはいかなかったが、前日までの雨の予報を覆し、時折晴れ間も差し込む空の下、地元をはじめ全国から集まった84チームが美しい砂の上でのビーチフットを満喫した。

一般の優勝候補の筆頭は、前回大会で感動の地元初Vを飾ったBE@RS。大声援の追い風にも乗って1回戦から危なげなく勝ち上がり、いよいよ迎えた決勝戦。対するはZERO。昨年のこの大会で、それぞれベスト8・ベスト4まで勝ち進んだPOPCORNと兵大Heart-Beatが合体したチームである。しかも即席のコンバインドではなく5月からの合同練習で養った組織力を備え、さらに岡本・坂田という2枚看板を擁する強力な布陣。その岡本-坂田のパスラインがこの決勝でも攻撃の要になった。30mはあろうかという正確なロングパスを武器に得点を重ねたZEROが、13-4でBE@RSを退けた。女子の部では、6月の東海大会で優勝を果たしているJOLIESが順当に決勝へ進出した。決勝の相手は、1回戦からすべて完封で

勝ち上がったPROSPERARE。長いフロントパスを見事に決めたPROSPERAREに先制されたJOLIESだったが、慌てず自分たちのペースを崩さなかったのは、ランキング1位の底力か。その後は常に敵陣でゲームを進めたJOLIESが、貫禄の逆転勝利を果たした。

JOLIESがすでに全国大会への出場を決めていたため、準優勝のPROSPERAREも出場権を獲得。敗れはしたものの好ゲームを披露しただけで、活躍に期待が高まる。

また、一般の東海大会で、ランキング1位の虎三を破る金星を挙げたDENKO-MACが今大会にも参戦。2回戦で同2位のBeachBoysを破り、またしても大物キラーぶりを発揮した。

決勝以外は5分ハーフという短い試合時間で行われるため、番狂わせも起きやすいこの大会。「時間の短い試合では、序盤の戦い方が大切。チャンスをきちんとモノにする戦い方をわかっているチームが強い」と若狭専務理事。1年後、それぞれのチームがひと回り成長し、またこの白浜で熱戦を繰り広げてくれることに期待したい。

▶ CUP TOURNAMENT

BE@RS Crescendo	0	
Beach Boys	15	3
DENKO MAC	10	9
中宮フットボールクラブ	7	0
メラニンズ	7	0
東クラブR	0	3
FomaBluse	4	0
HeartBeat	6	3
BE@RS	10	4
大阪スーパーモンキーズ	3	25
あきらちゃんず	3	0
B-DASH	6	0
如水庵	10	0
TEAM108「平田ネジ」	4	4
Germis	15	0
和歌山大学みや	4	0
牛々亭	0	0
BeachBoys of joytoy	13	0
ユニコーンズ組合	0	0
裸夜神	0	14
ZERO	3	0
3位決定戦 DENKO MAC 4-0 如水庵		

▶ LADY'S TOURNAMENT

JOLIES OG	0	
PROSPERARE	13	8
小梅	3	0
Team Cawaii	12	0
Cheers	11	0
SWITCh-oN!!	0	0
JOLIES	11	6



東海大会に続き金星を挙げたDENKO-MACだったが、惜しくも3位に



夜もビーチが熱く燃えた！



1日の夜、試合会場のビーチで50発の花火が打ち上げられた。実行委員会の企画により初めて行われた「マイチーム花火」。メッセージを読み上げてから1発ずつ打ち上げられ、プレーヤーの大会に懸ける意気込みや仲間への励まし、愛の告白(?)などを乗せた花火が夜空に舞った。地元の一般客も見物に訪れるほどの盛況となり、ビーチは昼とは違った熱気に包まれた。



ダイビング・タッチイン！ 同チームとしては初出場となるZEROが、地元・和歌山のBE@RSを振りきって優勝を果たした

ZERO、快勝！

JOLIES、東海に続き女王の座に



レディトーナメントには7チームが出場



お楽しみは試合だけじゃない！ 恒例のじゃんけん大会



真っ白な砂も勝者を祝福